

平成19年度県立常北高等学校自己評価表

目指す学校像		創立以来44年の歴史と伝統に基づき、校訓の「至誠、勤勉、協和」の精神を徹底させ、心身ともに調和のとれた人間形成を図るとともに、地域社会に貢献できる学校づくりを目指す。						
昨年度の成果と課題		重点項目		重点目標		達成状況		
<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導の面では、学力向上スーパープランの少人数指導により、国語・数学・英語の教科では、基本的事項の徹底等、一人一人の能力に応じたきめ細かな対応できた。 ・生徒指導の面では、校内巡視の実施により、生徒指導事故が大幅に減少した。遅刻者退学者も減少している。 ・進路指導の面では、きめこまかな指導の実施により、卒業時の進路決定が向上した。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導では、より一層分かりやすい授業の展開により、基礎学力の向上を図る必要がある。 ・生徒数の減少により部活動の運営が困難になっているので、部活動に関する教職員の共通理解が課題である。 ・全体的に生徒の積極性を伸ばす教育活動を展開する工夫が求められる。 		分かる楽しさが実感できる授業の展開による学習指導の充実	生徒の実態に応じた十分な教材研究、公開授業の積極的な参観、教科間の連携・研修等を通して、学習指導の質的向上を図る。 少人数学習の展開に一層の工夫・改善を図る。 課題の提出や学習進度表の活用を図りながら、学習内容の定着を図る。	B				
		規範意識の高揚を育む生徒指導の充実	計画的・継続的な生徒面談、家庭訪問、及び充実したホームルーム活動を通して、生徒理解に努める。 頭髪・服装指導や遅刻防止等の徹底に努め、基本的生活習慣の確立に努める。 規範意識や社会性の育成に努める。	A				
		希望を実現させる進路指導の充実	生徒の実態や特性を踏まえ、諸テスト等の進路資料を活用したり、面接指導等を充実させるなど、進路指導の充実を図る。 社会人講師の活用やインターンシップ等の実施により、進路意識の高揚を図る。 資格取得の奨励を通して、よる確かな進路実現を図る。	B				
		特別活動の活発化	生徒が充実感・達成感を実感できる部活動等の積極的な指導に努める。 部活動等を通して、規律ある生活態度の修得や忍耐力等の育成に努める。 ホームルーム活動や生徒会活動の充実を図り、教師と生徒の望ましい人間関係を育成する。	B				
		地域との連携を目指す開かれた学校づくりの推進	ホームページや広報誌等の充実を図り、保護者・地域への積極的な情報の提供に努める。 学校評議員や地域の声等を取り入れ、学校・家庭・地域社会が相互に連携・協力した教育を推進する。 外部への公開授業の在り方を研究し、本校に対する理解の推進を図る。	B				
評価項目	具体的目標	具体的方策			評価		次年度への主な課題	
教科指導	分かる授業の展開	進度表の作成と、授業目標に沿った授業計画を立案する。			A	B		
		授業終了後に指導内容を検討し、次時への授業改善に生かす。			B			
国語	基礎的な国語力の育成	漢字力・語彙力を反復練習により身につける。			A	A	授業毎に反省評価を行う。 漢字検定の合格者増を目指す。	
	読書の習慣の育成	語彙力を身につけ、読書をするおもしろさを体験し、自ら本を選択し読む習慣が持てるようにする。			A			
	作文の基本的なルールや、自分の考えを正しく表現する技術の習得	作文用紙の使い方、文章を書く上での基本的な語句と表現上の注意を身につけ、自分の考えや意見を的確に表現できる技術を身につける。			A			

各	地歴 公民	基礎的事項の理解の徹底	1年から地図帳を持たせることにより、2・3年で学習する科目に反映させ、学習効果をより高め、歴史に関心をもたせ基礎的事項の定着をはかる。	B	B	地図帳持参の徹底 わかりやすい授業の展開と知識定着のための研究
		現代社会の諸問題への興味・関心の喚起とその解決への主体的取り組みの育成	現代社会の様々な現象・問題について新聞記事等を読ませたりビデオを視聴させたりして、感想文を書かせる事により、社会人として必要な学力や知識を養う。	B		
各	数学	基礎・基本の充実	四則計算を中心とした基本的な計算練習を継続的に行なう。	B	A	・基礎計算練習時間の確保を工夫したい。
		生徒の能力に応じた指導	少人数学習とチームティーチングを組み合わせ、生徒の能力に応じた指導を展開する。	A		
各	理科	生徒の興味・関心を引き出す授業の展開	教科書の内容を身近な科学現象と結びつけたり、最新の自然科学に関する情報を紹介することにより、生徒の興味・関心を引き出す。また、探究活動にも力を入れる。	A	A	・校外実習を取り入れてみたい。 ・実験を通して生徒に自然科学の面白さ、不思議さを伝えていきたい。
		基礎的内容の指導の徹底	実物や図表等を効果的に使用し、理解を深めさせる。また、問題集の活用や小テストの実施を通じた反復学習で内容を定着させる。	A		
		観察・実験の充実	各科目年間5回以上の観察・実験を行い、器具等の基本的操作を身につける。実験前学習を通して、観察・実験をより意義深いものとする。	A		
		開かれた学校づくりに向けた情報公開	各科目ごとに年間計画ではなくシラバスを作成し、授業内容等を生徒及び保護者にきちんと知らせる。	A		
教	保健 体育	健康の保持増進のための実践力の育成	健康・安全の課題に直面した時に、科学的な思考と正しい判断に基づく意思決定や行動選択を行い、適切に実践できるような資質や能力の基礎を、体育・保健の授業を通して養う。	B	B	・保健では教科書の内容プラス現代社会の健康問題を取り上げていきたい。 ・体力の保持増進と生涯体育につながる指導を心がけたい。
		体力の向上	新体力テストの結果を参考に、継続した補強運動を行い、体力を高める。	A		
		応急処置法の習得	心肺蘇生法（人形を使つての実践）・RICE等様々な応急処置法を身につける。	B		
科	音楽	曲種にあった発声の習得と歌唱に対する意欲の育成	呼吸法、口形など発声の基本を学習し、曲種に応じた発声を工夫させる。あわせて、歌うことの楽しさを感じ取らせる。	A	A	・合唱活動への取り組みをする。 ・器楽のアンサンブル活動を工夫する。 ・鑑賞時間の確保を工夫したい。
		リコーダーとギターの基本的奏法の習得	リコーダーの奏法と基本的な運指を練習させる。ギターの基本的な奏法とコードネームを理解させる。	A		
		世界の音楽や日本の伝統音楽の理解	様々な音楽の鑑賞を通して、楽曲の構造や、音楽の歴史的・文化的背景を理解させる。日本の伝統音楽の文化的背景を学習させる。	B		
科	英語	基本的な英単語の定着	基本的な単語の書き取りの練習を継続的に行うことで定着させる。	A	A	・さらなる文法事項の定着をはかる。 ・音声面での指導にも力を入れたい。
		基礎的な文法事項の理解	少人数やチームティーチングで授業を行うことにより、基本的な文法事項を理解させ、定着させる。	A		
		外国への興味・関心の喚起	サイパンのカグマン高校との交換留学をきっかけに、外国への興味・関心を深め、コミュニケーション能力の向上を図る。	B		
科	家庭	基礎的・基本的な知識・技術の習得	基礎的な知識を習得するとともに、実験・実習を通して、調理や被服製作の基礎的・基本的技術を身につける。	B	B	調理実習の回数を増やし、更なる基礎技術の向上を目指す。
		検定の実施による知識技術の習得	食物技術検定合格を通して、知識技術を習得し、合格を目指す。	B		

情報	情報を活用する実践力の育成	マルチメディアやインターネットを活用した実践力と、情報の収集・発信を通しての問題解決力の向上を図る指導を展開する。	A	B	パソコン実習だけでなく、座学をもう少し行う。
	情報社会における望ましい態度の育成	著作権や情報モラル等の情報倫理を身に付ける指導を展開する。	B		
商業	検定試験による技術習得	ワープロ検定試験，電卓検定試験を通し，技術の習得を目指す。	A	B	基礎力をつけたあとに発展的な問題も取り入れたい。
	ソフトウェア利用の技術の習得	ワープロソフト，表計算ソフトの利用方法を練習問題を通して学習する。身近な事柄を文章化したり，作表したりする。	B		
総合的な学習の時間	進路指導の徹底 豊かな心の育成	外部講師による面接・小論文指導等を実施し，就職内定率，進学希望達成率の向上を図る。日本を客観的に知り，視野を広げるために留学生を招き，異文化交流を行う。社会規範の基となるマナーを学び，自信を持って人と接することができるようにする。	A	A	外部講師による面接指導は大変効果があったと思われるので継続した方がよいと思う。
	進路意識の高揚と規範意識の育成	マナー講習やインターンシップを通じてモラル，マナーを身につけさせ，進路に対する意識も高めさせる。	A		
道徳	マナーの修得と自他を大切に する心の育成	自他の生命や人権を尊重し，思いやりの精神を持たせる。社会の一員としての自覚を持たせ，公共心を育む。公開授業を年2回実施する。夢を育み，自己実現に向けて努力する心を養う。外部講師を活用する。	A	A	各授業とも高い意識で実施することができた。
教 務	授業時間の確保	出張，年休の場合は振り替えを行う。	A	A	学年行事および学校行事内容の共通理解 ネットワークセキュリティの強化
	学年や諸係との連携	学年，部との連携の強化に努める。	B		
	校内研修の充実	考査期間中に研修を設ける。	A		
	ネットワークの管理	成績処理のセキュリティの強化を図る。ネットワークを含むパソコン環境の管理・運用・整備を進める。	B		
生徒指導	喫煙等の生徒指導上の事故防止	早朝校外立哨指導，校内巡視（毎休み時間），校外巡視（放課後等）等による事故防止を図る。	A	B	全職員の団結した指導体制 元気よく気持ちの良い「あいさつ」ができる生徒の育成を目指して取り組みたい。
	交通安全教育の推進	交通安全講話，バイク実技指導，自転車・バイク安全点検等により，交通安全教育の推進に努める。	B		
	基本的生活習慣の育成	立哨指導等による頭髪・服装の指導や挨拶励行の指導を徹底する。	B		
	地域との連携	校外施設の巡回，交通マナーアップ事業，中学校訪問，青少年相談委員等との連携により，生徒指導上の事故防止に努める。	A		
進路指導	進路意識の喚起	進路の講演会・説明会・マナー教室等やHRを通して，進路意識の喚起に努める。	A	A	検定資格の取得など基礎力の目的をしっかり設定し目に見る力がつくよう計画指導の実現。
	基礎力テストの充実	基礎力テストの方法や内容の改善を行い，生徒が着実に基礎的な力を身に付け，さらなる能力の向上を図る。	B		
	面接指導の徹底	進学・就職希望者の全員に模擬面接を実施をして，面接力を向上させ，生徒の進路希望の実現を図る。	A		
	インターンシップの実施	2年次でのインターンシップを充実したものとする。	A		
特別活動	ボランティア活動の充実	城里町社会福祉協議会との連携を図る。（高校生会への参加を呼びかける）	A	B	設置部の検討 雨天のため中止 実施時期の検討 芸術鑑賞会内容検討
	部活動の充実	部加入率の増加を図る。（体験入部を実施する）	C		
	ツールド常北の円滑な実施	交通安全指導の充実に努めながら，ツールド常北の安全な運営を図る。			
	クラスマッチの実施	P T Aとの連携を推進する。			
	クラスマッチの実施	クラスマッチの充実を図る。	A		
	春園祭の円滑な実施	春園祭の準備を早めに進める。			

保健厚生	学校保健の年間計画の効果的な立案	健康診断の事後措置や日々の保健指導を通じ、健康についての自己管理の意識を高める。	A	A	保健委員会の活動内容の検討
		外部講師による講演会等における保健指導を行うことにより、性教育の充実を図る。	A		
		保健委員会の積極的な活動についての指導・助言を行う。	B		
	健康で安全な学校環境の整備・美化	ゴミの分別等について啓発活動を行い、意識の高揚を図るとともに、環境美化に努める。	A		
		施設設備の安全点検を行い、安全管理に努めるとともに、安全についての意識を高める。	A		
		美化委員会の積極的な活動についての指導・助言を行う。	A		
防災計画の立案と防災教育の推進	防災組織を編成し防災訓練等を実施することにより、非常時に適切な行動がとれるようにする。	A			
奨学生募集についての積極的な広報活動	募集について随時担任と連絡を取り合い、多くの生徒が活用できるよう積極的に呼びかける。	A			
問題行動や悩みについての相談活動	問題行動等について担任と連絡を取り合い、早期発見に努め、必要に応じて学校医や専門機関へ紹介する。	B			
渉外	P T A 活動の活性化	P T A 行事の出席率を高めるため、出席しやすい日程・時間などの環境を整える。	B	B	P T A 役員と緊密に連絡をとり学校活性化のために協力する。
		春園祭やツールド常北を成功させるため、P T A 役員を中心に緊密な連絡をとり企画・準備の推進を図る。	A		
	挨拶の励行への協力	P T A 支部を中心に生徒の登校指導（立哨）をおこない、挨拶やマナーの充実を図る。	B		
第3学年	進路指導の徹底	担任による面談や進路情報の伝達を適切に実施しながら、就職・進学先の決定に向けて奮起を促し、進路指導部と連携を図りながら、全員が進路決定できるよう指導する。また、外部講師による面接・小論文指導等を4回実施し、就職内定率、進学希望達成率の向上を図る。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字テストを実施するに当たり、何か目標を持たせて実施した方がよいと考える。 ・服装頭髪指導において、全職員が同じ目線で指導する必要があると考える。 ・外部講師による面接指導はかなり効果があったと思うので継続した方がよいと考える。
	基礎学力の向上	毎朝のSHR時を利用して漢字テストを実施し、リテラシーを身に付けさせる。また、放課後等を利用して、勉強会や課外を実施する。	A		
	高校生としてふさわしい身なりや態度の育成と基本的な生活習慣の確立	遅刻カードの利用および長期休業中の遅刻指導を実施し、遅刻防止や時間厳守の態度を身に付けさせる。早朝の立哨指導を行い、挨拶の励行ときちんとした服装の着用を促し、それが継続できるよう、SHR、学年集会や授業において徹底させる。	B		
	豊かな心の育成	日本を客観的に知り、視野を広げるために留学生を招き、外国語を学びながら異文化交流を行い、文化祭で発表させる。マナー教育の専門家を招き、社会規範の基となるマナーを学び、自信を持って人と接することができるようにする。	A		
第2学年	進路意識と基礎学力の向上	担任による面談や進路情報伝達を適切に実施しながら、生徒の進路希望を具体化させ、資格取得を目標に学習意欲を高める。また授業を大切にしている指導を行う。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・進路目標に対して各自が真剣に向き合えるように指導して行きたい。 ・3年生としての自覚を持たせリーダーシップを発揮させる。
	基本的な生活習慣の確立、高校生としてふさわしい身なりや態度の育成	遅刻カードの利用により、遅刻防止や時間厳守の態度を身に付けさせる。早朝の立哨指導を行い、挨拶の励行ときちんとした服装の着用を促すとともに、学年集会等でマナーの大切さを理解させる。	A		
	修学旅行の有意義な実施	LHRや学年集会で事前学習を十分にさせる。修学旅行の感想をまとめる。	B		

第1学年	基本的生活習慣の確立	遅刻カードの利用により、遅刻防止や時間厳守の態度を身に付けさせる。早朝の立哨指導を行い、挨拶の励行ときちんとした服装の着用を促す。生活の記録を毎日つけさせ、自分の生活を見つめ直す機会を与える。	A	A	外部講師を十分に活用し生徒に働きかけることができた。また基本的生活習慣の確立も当初の目標を達成できた。
	基礎学力の向上	朝のS H R時に漢字練習テスト、計算力テスト等を実施することにより、基礎学力の向上を図る。家庭学習を毎日必ず行わせるように指導し、学習習慣を身に付けさせる。	A		
	知的好奇心の喚起	毎日の授業だけでなく外部講師を十分に活用し、知的好奇心を刺激し、学習に対して肯定的な態度で、積極的に取り組むようにさせる。	A		
	豊かな心の育成	マナー講習会を実施し、他人に対する思いやりの心を礼の形で表現する事を学ばせる。またL H Rの時間を有効利用し、友情や自他を大切にする心を育む。	A		

評価基準： A = 大変良く達成できた。 B = よく達成できた。 C = 普通である。 D = やや不十分 E = 不十分